

学校における芸術分野の取組みに関するアンケート調査結果

1. 調査の目的

平成 25 年 4 月 1 日、岸和田市文化振興条例が制定され、条例に基づく文化振興計画により文化芸術の推進振興に努めております。令和 5 年 12 月に新たな計画となる「文化創造ビジョン・岸和田」が策定され、新たな計画のもとで文化芸術の推進と検証を行うため、学校現場における文化活動の現状や活動の意向を把握することを目的として、令和 6 年 6 月～7 月にかけて実施したものです。

2. 調査概要

◎小中学校における芸術分野の取組みに関するアンケート調査

小学校 24 校、中学校 11 校

3. 調査結果

【問 1】

- ・小学校 24 校中 23 校（95.8%）、中学校 11 校中 2 校（18.2%）が令和 4・5 年度において、文化芸術に関する鑑賞又は体験事業を実施している。

【問 2】

- ・小学校では、実施事業は、鑑賞事業が最も多く、文化会館での実施 1 件を除き、それ以外はすべて、学校内での実施している。中学校はすべて鑑賞事業となっている。
- ・ジャンルは、小学校においては音楽が約半数を占めるものの、演劇・人形劇や伝統芸能との記載も見られる。中学校においては、ダンス・和太鼓演奏となっている。
- ・費用については、小学校では、20 万円以上が約半数を占め、費用捻出については、家庭からの徴収によるものが約 8 割となっている。中学校は、15 万円以上となっており、費用捻出については、補助金によるもののほか、PTA、家庭からの徴収となっている。

【問 3】

- ・鑑賞事業・体験事業を実施している効果については、小中学校とも、事業を実施しているすべての学校において効果があったと回答している。

主な意見

- ・小学校

学習意欲の向上につながる。視野が広がり、人間性が豊かになる。経験の幅が広がる。学びや発見がある。感動する児童もいる。想像力や表現力が豊かになる。様々な芸術に触れることができる。子どもが楽しみにしている。本物に触れる体験は何物にも代えがたい。記憶に残りやすく経験につながる。

・中学校

プロの演奏を生で聴く体験は良いこと。貴重な体験

【問4】

- ・事業実施していない小学校1校の実施しない理由については、出演料・委託料の捻出が困難、実施したいと思う芸術家・実演団体がいない、又は、わからないとなっている。
- ・事業実施していない中学校の理由は、出演料・委託料の捻出ができないが約9割、学校のカリキュラムとの兼ね合いで実施する時間がないが約8割と高くなっている。
また、会場の確保・設備などの環境が整わない、芸術家・実演団体がいない、又は、わからない、従前より実施していないからという回答も見られる。

【問5】

- ・児童・生徒を対象とした芸術鑑賞行事を行う場合、文化会館のホール会場費、附属設備費の負担が免除されることの認知度は、小学校で75%、中学校で64%となっている。

【問6】

- ・問5の制度を知っている小学校での利用は11%、中学校では29%となっている。

【問7】

- ・問6の質問で利用したことのないと答えた学校で利用したいと回答したのは、小学校で33%、中学校で29%となっている。

【問8】

- ・問5の制度を利用しない、もしくは理由しづらい理由については、小学校では、交通手段が不便としているのは80%、以前より実施していない・出演料・委託料の捻出が難しいが、それぞれ15%、学校のカリキュラムの兼ね合いが10%となっている。
中学校では、学校のカリキュラムの兼ね合い、出演料・委託料の捻出が難しいが、それぞれ71%、交通手段が不便としているのが57%、従前より実施していないからが26%などとなっている。

その他意見

- ・バスの費用と所要時間が必要、児童数が少ないからなどの意見があった。

【問9】（小学校のみ）

- ・文化国際課が予定している音楽家を派遣するアウトリーチ事業について、利用したいと思う小学校は63%となっている。

【問10】（小学校のみ）

- ・問9で利用しない、わからないと回答した小学校の主な理由は、カリキュラムの兼ね合いが、56%、環境が整わないが11%となっている。

その他意見

- ・別に行っている。内容がわからない。指導面で気を遣うなどの意見があった。

【問 11】

- ・児童・生徒に対して芸術分野を鑑賞させたり、体験させることの意義や必要性については、小学校では 96%が大変重要、ある程度必要が 4%となっている。中学校では、ある程度必要である 55%、大変必要である 36%、どちらともいえないが 9%となっている。

【問 12】（食文化の取組み）

小学校事例

- ・バケツ稲づくりに取り組み収穫したお米をポン貸しに加工した。加工の様子を様子を撮影し、児童に提示した。
- ・食育授業の実施
- ・漁業体験（５年生）
- ・給食の献立として、七夕・お月見献立を設定
- ・SDGs の後援会の実施
- ・愛彩ランドでの調理体験、餅つき大会・体験
- ・田植えから稲刈りまでの米作り体験、玉ねぎやジャガイモ等の苗植えから収穫までの野菜作り体験、収穫したお米や野菜を給食材料として使用
- ・給食時に今日の献立内容に関する全校放送、給食中、各クラスを回っての栄養士による学級指導
- ・給食試食会（PTA 主催）
- ・収穫体験、七輪体験（おもち）、味噌づくり、伝統行事の実施

中学校事例

- ・家庭科授業で、地域の食材を使った調理について学習した。
- ・学校教育課の栄養教諭に食育についての講義をお願いしている。
- ・支援学級による畑づくりからの調理実習を実施
- ・年間を通じて、各学年が食育に関する指導目標を明確にし、育成している。